

週報

国際ロータリー第 2660 地区

令和 3 年 3 月 30 日



豊中ロータリークラブ

広めよう ロータリーの心 地域とともに

創立 1959 年 6 月 16 日



2020.7~2021.6

会 長 岩本洋子
副 会 長 小川佳伸
幹 事 宮田幹二
雑誌・広報・会報委員長
吉川秀樹

2020~21 年度
国際ロータリー会長
ホルガー・クナーケ
(ロータリーは機会の扉を開く)

本日 (3 月 30 日) のプログラム

「社会奉仕月間に因んで」

豊中地区保護司会会長 辻 由郎 様

卓話担当：社会奉仕委員長 原 和永

～ 社会奉仕フォーラム ～

次回 (4 月 6 日) のプログラム

「感染症への挑戦」

卓話担当：木村 正治

★会長の時間★

「25 年ぐらい前の国選弁護人のお話し」

2020-21 年度 会長 岩本洋子

私は民事弁護士で、刑事事件を担当していませんが、今から 25 年ぐらい前は、年に 1 件だけは国選弁護人を受任するようにと大阪弁護士会から、「ノルマ」を課されていました。50 歳以下の全弁護士に「ノルマ」があったと思います。その頃は刑事の国選弁護人が不足していたのです。私は年に 1 回だけ刑事国選弁護人を担当する民事弁護士というわけで、お医者さんで言えば「ヤブ医者」でした。受任の仕方も弁護方法もアマチュアですから、友人の刑事弁護士に教えてもらいながら担当しました。友人の刑事弁護士が教えてくれたのは、「被害者のない犯罪を選んで受任せよ」ということでした。被害者があると弁償しないといけないのですが、国選弁護人を頼む人というのは自分も家族もお金がない人が多いので、弁償できないのです。10 万円を窃盗した人でも 10 万円の弁償ができないわけです。ましてや殺人とか放火とか詐欺罪とか何百万円、何千万円の弁償をしないといけない犯人の国選弁護人はお手上げです。一方、被害者のない犯罪の典型は覚せい剤関係です。覚せい剤使用で頭が狂ってもそれは自分が被害者なので弁償の必要はありません。無免許運転というのも被害者はいません。こんな被害者のない犯罪を選んで、1 年に 1 件だけ国選弁護人の「ノルマ」を果たしていました。それが今はどうなったかといいますと、ロースクール制度ができて、司法試験合格者が 2000 人に増えて、若い弁護士さんが激増しまして、刑事国選事件が取り合いになりました。これはこれでキビシイ弁護士事情ですが、私は 1 年に 1 件の「国選ノルマ」から解放されて、ホッとしております。

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

事務局・例会場：〒560-0021 豊中市本町 3 丁目 1 番 16 号 ホテル アイボリー内
TEL 06-6858-1551 FAX 06-6857-0011

例 会 日 時：毎週火曜日 12 時 30 分より

事 務 局：10 時～16 時(土日祝を除く)

HP アドレス：www.sun-inet.or.jp/~jtrc2660/

メールアドレス：jtrc2660@sun-inet.or.jp

例会出席報告☆

	第2914回	第2911回
例会日	3月23日	2月9日
① 会員数 A	39	38
(内出席免除者)	8	8
② 出席義務者数	31	30
③ 出席義務者出席数	22	23
④ 出席免除者出席数	5	4
⑤ メイクアップ数		1
⑥ 出席義務者欠席数	9	7
出席率 %	75.00%	82.35%

出席率(2914回) ③+④/②+④ 出席率(2911回) ③+④+⑤/②+④

幹事報告

- ・国際ロータリー第2660地区より
「2020-21年度 地区国際奉仕委員会 NewsLetter 第4号」が届きました。
「春のRYLAのPR動画」が届きました。吹田ロータリークラブがホストのもと、5月1日(土)に開催されます。
2660地区のホームページ <https://www.ri2660.gr.jp/> よりご確認ください、
「ロータリー希望の扉プロジェクトのお知らせ」が届きました。
「米山 業務委託に関する覚書」が届きました。
- ・大阪府「ダメ。ゼッタイ。」普及運動実行委員会より
「昨年の当クラブからの募金に対してのお礼状」が届きました。

掲示板

- ・社会奉仕フォーラム
日時：2021年3月30日(火) 本日例会終了後
場所：ホテルアイボリー 例会会場
- ・第10回定例理事会
日時：2021年4月6日(火) 例会終了後
場所：ホテルアイボリー 例会会場前
- ・春の親睦家族会
日時：2021年4月11日(日)
行先：天橋立

※4月20日(火)は“春の家族会”との例会変更のため休会となります。

- ・第2回「IM第1組ロータリーデー」実行委員会
日時：2021年4月13日(火) 例会終了後
場所：ホテルアイボリー 例会会場前
- ・国際奉仕フォーラム
日時：2021年4月27日(火) 例会終了後

3月23日のゲストとビジター

- ・豊中市社会福祉協議会 福祉推進室長 勝部 麗子 様
- ・豊中市社会福祉協議会 福祉推進室次長 飯野 哲夫 様
- ・米山奨学生 楊馳君
- ・豊中RC奨学生 Li jiyao さん
- ・豊中RC奨学生 Mamahit 君

3月23日のニコニコ箱報告

- ・誕生日祝いを頂いて 小川、原各会員
- ・米田、福盛各会員にお世話になりました。佐川会員
- ・吉川会員にお世話になりました。福盛会員
- ・長らくお休みしました。福盛会員



豊中市社会福祉協議会へお米1トン
(100袋×3000円=30万円) (一袋は10kg)を寄付することになりました。



副幹事・副SAA当番

- 4月副幹事 谷野桂子会員
- 4月副SAA 原和永会員

3月受付当番

- チーフ：米田 眞会員
- 3月30日 小牧義昭会員、原 和永会員

4月受付当番

- チーフ：村司辰朗会員
- 4月6日 田中正一会員、米田 眞会員
- 4月13日 眞下 節会員、松本 悟会員

2019年4月～2021年3月 米山奨学生

楊 馳



2019年4月から二年間、大変お世話になっておりました、米山奨学生の楊です。

私は博士後期課程に進学してから、研究に打ち込めば打ち込むほど、それ以外の時間が削られていき、経済面でも大変苦勞を強いられます。そんな状況において、米山記念奨学金は私にとってまさに大きな救いとなりました。頂いた奨学金は学費と研究費にあてさせていただき、奨学生として恥じぬようより一層勉学に励みました。おかげで、無事博士論文を提出し、博士号を修得しました。もちろん、経済面だけではなく、ロータリークラブは、私にとって、自分の世界観・視野を広げ、ネットワークを強くし、社会奉仕への責任感を持たせてくれた大事な存在です。2年間の奨学生生活で、豊中ロータリークラブの活動や、ロータリー米山記念奨学会の活動にたくさん参加させて頂きました。皆様との交流を通して、日本の文化・習慣などに触れることができました。岩本会長をはじめ、多くの方々にお世話になりました。また、同じく豊中RCの奨学生のサムさん、李さんとママヒットさんと仲良くさせて頂き、この2年間は私にとって人生の宝物です。

私は3月学校を卒業すると共に、日本での留学生活に終止符を打ち、中国に帰国することになります。そして、9月から、中国の大学の日本語教員となります。米山奨学生に応募した際に、提出した小論文に、将来の計画についてこのようなことを書きました。「日本で勉強した知識や経験を生かし、微力ながら日本のために、中国のために貢献し、日中友好の架け橋になりたいです」。新型コロナウイルス感染症の余波が続く中、日本や世界各国が、発生地とみられる中国に対する見方はまた大きく変わるでしょう。また、コロナに関する情報だけでなく、夥しい数の情報が日々われわれに押し寄せてきている今、もし学生が日本語という道具を手に入れば、違う視点で総合的に考慮し、判断することが可能と考えて、教師を志しました。日本語というツールを提供することで、中国の学生をより広い視野で、客観的に日本、また日本との関係を捉えることができれば幸いと考えております。日本と中国には様々な問題が存在しておりますが、今の近くて遠い国から、近くてさらに近い国に変身させたいと考えております。

最後になりましたが、様々な面で支えて頂きましたロータリーの皆様に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。また、豊中ロータリークラブのさらなるのご発展を願い、そして皆様方の益々のご健康とご活躍を祈り、謝辞とさせていただきます。

ありがとうございました。

3月23日の卓話

「アメリカの大統領と日本の総理大臣の使命と責務」

卓話担当：畑田耕一



アメリカ社会の混迷を深めたともいえるトランプの政治は前大統領のトランプが連邦議事堂の襲撃を先導したとの疑いで訴追されるという前代未聞の事件で終結をみることになった。事の発端は選挙の結果を受け入れなかったトランプ氏の信じがたい振舞いである。どのような理由・原因があったにせよ、彼の行いは民主主義の根幹を破壊するものである。続くバイデン大統領は「この歴史の悲しい章」は「民主主義の壊れやすさ」を教えていると言い、自由主義圏共通の教訓とすべきであると語ったという。まったく同感である。

朝日新聞の政治季評に曰く「政治家は行動の効果すべてに配慮すべきと言われるが、再選に役立つという効果だけを考え、実に効果的に行動したのがトランプ氏であった」、また曰く「大統領選挙の敗北を認めず、根拠なく選挙不正を主張し、一種のクーデターの試みと言える議事堂襲撃事件まで引き起こすとは。トランプ氏の危険は真実と民主主義にも及んだ」²⁾

結局は2020年の大統領選挙でバイデン氏が史上最多の8100万の得票を得て勝利したが、トランプ氏の得票数も7400万票であったことは忘れてはならない。バイデン氏は大統領就任式で「国民が一つになること」を訴えたという。互いに意見の不一致はあってもよいが、いつも隣人として相手の身になって考えることの必要性を説いたのである。これはトランプ氏に欠けていた思いやりと助け合いの思想である。²⁾

ところで、本 2021 年は温室効果ガス(二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、フロンガス等)排出量の実質ゼロを目指す始まりの年である。それが 1 月の厳冬により出鼻をくじかれた感がある。太陽光発電が増える中で、低温・曇天の天候がわざわざいらしい。風力発電が主力で、しかも大陸の中で電力の融通ができるヨーロッパとは異なる島国日本の弱点である。しかし何も悲観することはない。これを今後の我が国の再生可能エネルギー活用をいかに進めるかを真剣に考えるきっかけに出来ればと思う。³⁾

近年の地球温暖化の影響で、日本周辺の海面水温が上昇している。日本で台風被害が多いのは海水温度の最も高い西太平洋の西端に日本が位置しているからである。二酸化炭素の 20 倍の温室効果を持つというメタンガスは、通常は永久凍土の中に閉じ込められているのだが、温暖化で永久凍土が解け、大気中に放出され始めているという。難儀なことである。将来はソーラーパネルを搭載した無人飛行機で台風の常時監視と高精度予測が出来るようになり、大型台風が近づいたとき、日本列島直撃を避けるように進路を変えたり、勢力を弱めたりする台風の人口制御ができる日が来るかもしれないという。⁴⁾ 是非とも実現して欲しいと思う。

話は変わるが、どのような発電装置も製造後何年か経てばそのままでは使えなくなる。修理して使い続けるか、使用をやめるか、決めねばならない時が来る。これは何も発電装置に限った事ではない。多くの装置の宿命である。ただ、原子力発電装置の場合は使用をやめた後が少し複雑である。放射能の問題があって分解してそのまま廃棄するというわけにはいかないからである。この問題の解決方法はただ一つしかないように思われる。それは原子力発電の中止である。

原子力発電に関わるいろいろな問題は科学的には単純明快で、ことを始める前から専門家には分かっていたことのように思われる。その問題の解決策を考える時間的余裕がないままに発電所の建設が始められてしまったということのように感じられる。

次は東京外郭環状道路工事に関わる話であるが、これは地下の奥深くで行う工事だから地上にある建造物などには影響はでないであろうと思っていたら、そうではなくて、道路の陥没や地下での空洞の発生が起こった、という問題である。工事中に掘削機に土砂が詰まって動かなくなったので、土を柔らかくする薬剤を注入したら土砂を取り込みすぎるミスが発生し、砂や小石の多い地質だったために地盤がゆるみ陥没が起こったということのようである。ことの次第が科学的に速やかに解明されたのは、不幸中の幸いというべきかもしれないが、初めて行う工事に付随して起こることの推測の困難さを示す好例である。残念なのは大きな事故の起こる一ヶ月ほど前から住宅や地面に工事との関連が疑われる異変の起こっていることが通報されていたのに、それが考慮されなかったという事実である。残念至極!^{5), 6)}

菅総理にとって新型コロナ対策を含めて今の日本での総理としてのかじ取りは大変難しい。でもその仕事が難しいからと言って総理はやらないわけには行かない。それは総理の仕事だからである。

でも、それが総理の使命であり責務だから国民は黙って見ておればいいのか、何もしなくていいのかというと、それは違う。その総理を選んだのはほかならぬ日本国民なのである。総理が苦勞しなかな問題解決が出来なかつたり、あるいは間違った判断をしたりしたときに、国民がそれを非難するだけでは、国民は無責任極まりなくて、その使命を果たしていないことになる。そのような事態が生じた時に、総理の問題解決を支援し、あるいは判断の間違いを正すのは国民の使命であり責務なのである。日本の国民はこの問題をそこまで十分に理解・認識しているであろうか、あるいはさらに言えばそこまで踏み込んで考えているのであろうか、というのが筆者の心配するところである。国の総理というような立場の人でもあやまちをおかすことはあるということをお忘れしないでほしいと思う。⁷⁾

参考記事

- 1) 朝日新聞社説「米の弾劾裁判 トランプ流と決別の時」朝日新聞 2021 年 2 月 17 日 12 頁
- 2) 朝日新聞 2021 年 2 月 18 日 13 頁 政治季評
早稲田大学教授 豊永郁子「自分がよければそれでよい 自助の果てにトランプ流」
- 3) 朝日新聞 2021 年 2 月 18 日 13 頁 私の視点
大阪大学招聘教授 西村陽(きよし)「厳冬で電力需給逼迫 再エネ拡大へ大手も参画を」
- 4) 學士會会報 第 947 号 57-68 頁 名古屋大学宇宙地球環境研究所教授 坪木和久「台風の強度測定と予測精度の向上に向けた航空機観測最前線」
- 5) 朝日新聞社説 朝日新聞 2021 年 2 月 18 日 12 頁
「老朽原発延命 無責任の上塗りやめよ」
「地下工事で穴 過信を排し安全確保を」
- 6) 東京外郭環状道路工事と道路陥没の因果関係—外環トンネル直上に煙突状の緩み
<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/01522/00001/>
- 7) 朝日新聞 2021 年 2 月 17 日 13 頁 多事奏論
編集委員 国分高史「繰り返される密室人事 内向きの論理 社会とズレ」